

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
まちなか地区(第2期)

令和5年12月

長崎県長崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者交通量 (まちなか地区6地点)	人/日	47,859	47,400	35,051	確定 ●	×	あり	33,424	R5年9月	×	平日の調査日の天候(雨)が影響したものと考えられるため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちなみ整備や賑わいと活力あるまちづくり事業により、町家を中心としたまちなみの形成や賑わいの創出に加え、回遊性を高める道路整備により歩行者の安全性、快適性が向上したが、コロナ禍(R2.1~R5.5)により減少した歩行者通行量は回復途上であり、目標値を下回る結果となった。
指標2	出島の入場者数	人/年	429,848	513,000	364,758	確定 ●	×	あり	476,478	R4年4月~R5年3月 (R4年度)	×	R4年度後半に、新型コロナウイルスの影響が低減し、観光客数が回復したため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	町家の利活用や、出島等の夜間景観を整備したことによる入場者数の目標値を上回る増加を期待していたが、コロナ禍(R2.1~R5.5)からの観光客が回復途上であり、目標値を下回る結果となった。
指標3	まちなか人口の比率	%	5.04	5.25	5.28	確定 ●	○	あり	/	R 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市拠点機能の向上や、道路や公園などの都市基盤施設の整備による快適性、安全性の向上やまちなかの魅力づくりが進んだことで、他地域より人口の流出を抑えることができ、まちなか人口の比率が増加した。
指標4	公園の利用件数 (まちなか地区8公園)	件/年	143	155	172	確定 ●	○	あり	181	R4年4月~R5年3月 (R4年度)	○	— <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	魚の町公園の整備や出島表門橋公園の供用開始によりイベント利用などが増加したことで目標値を大幅に上回った。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	まちなか地区人口	人	21306	/	21040	確定 ●	/	/	/	R 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市拠点機能の向上や、道路や公園などの都市基盤施設の整備により、安全性・快適性が向上し、まちなかの魅力が高まったことで、地区内の常住人口が概ね維持された。
その他の数値指標2	今までに出島を訪れたことがある人の割合 (市民意識調査)	%	49.5	/	72.5	確定 ●	/	/	72.2	R5年1月	/	— <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	出島表門橋の架設や出島のライトアップ、中島川周辺の夜間景観の整備により出島の魅力が向上したことで、出島を訪れた市民の割合が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	まちなか地区の定住人口・都市活力の維持	銅座地区において、安全性・快適性を向上させるとともに、地域の魅力を高め、賑わいを生み出す空間の整備を図るため、都市計画道路銅座町松が枝町線(銅座川プロムナード)の事業の推進を図った。	事業の推進により、整備に必要な用地の取得及び建物の解体が進んだ。	引き続き、暮らしやすいまちなかを創っていくため、都市計画道路銅座町松が枝町線(銅座川プロムナード)の早期完成に向け、事業を推進していく。
	官民連携によるまちづくり活動	官民連携によるまちづくりを促進するため、令和5年10月に地域でまちづくり活動を行っているプレイヤーとの交流会及びワークショップを開催した。	・まちづくりプレイヤーの意見や支援・要望事項の把握ができた。 ・まちづくりプレイヤーやイベント間の繋がりができ、まちづくり活動の活性化に寄与した。	引き続き、定期的な交流会やワークショップの開催など、地域で活動する市民・団体と連携しながらまちづくりを進めるとともに、まちづくり活動を継続・発展させていくため、官民が連携しやすい環境づくりが必要である。
	地域の魅力向上及び魅力的な資源の維持・活用	・寺町地区の魅力を向上させるため、寺町の雰囲気合わせた市道浜町伊勢町線の整備を推進した。 ・長崎の和の文化が残る中島川・寺町地区において、町家を活かしたまちなみづくりを推進するため、まちなみ整備助成事業を実施した。	・現在、市道浜町伊勢町線は整備中である。 ・まちなみ整備助成事業について、2件の利用があり、既存町家の保全が図られるとともに、町家風の外観修景により、まちなみの形成につながった。	引き続き、地域の特徴に合わせた道路やまちなみの整備とともに、長崎特有の魅力的な資源の維持・活用を進め、地域の魅力を高めていく。
	高次な都市機能施設の周辺環境の整備	新市庁舎周辺の安全で快適な交通環境を確保するため、継続して周辺道路等の整備を推進した。	事業の推進により、歩道及びバスベイスの整備が進み、安全に通行できる歩行空間が確保されるとともに、バス利用者の利便性が向上した。	引き続き、安全で快適な交通環境を確保するため、新庁舎周辺道路の早期完成に向け、事業を推進していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地域住民と来街者等の交流促進	地域住民と来街者等の交流を促進し、賑わいを生み出す空間等を創出するため、拠点となる新たな文化施設(仮称)整備事業の検討を進めた。	・事業を推進するため、検討委員会を設置し有識者等から意見など聴取している。	引き続き、地域住民と来街者等の交流を促進し、賑わいを生み出すため、拠点施設の整備を進める必要がある。
	地域主体の活動の推進	まちなかで、まちの魅力づくりや賑わいを創出する活動を行っている市民・団体等を支援するため、まちなか賑わいづくり活動支援事業を実施した。	・まちなかにぎわいづくり活動支援事業について、4件の利用があり、まちの魅力向上や賑わいの創出とともに、まちづくり活動を実施する人の増加につながった。	引き続き、まちなかで活動する人を増やすとともに、地域による主体的、持続的な活動を支える拠点施設の整備を進める必要がある。
	長崎駅周辺地区との回遊性の向上	長崎駅周辺地区とまちなか地区の動線強化及び回遊性の向上を図るため、都市計画道路大黒町恵美須町線(道路拡幅及び電線類地中化)の事業の推進を図った。	事業の推進により、整備に必要な用地の取得が進んだ。	引き続き、令和9年度の完成に向け、必要な用地の取得や調査・設計を進めていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—	—	—	—